教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
国語	現代の国語	必履修	2	1	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

教科書	東京書籍　新編現代の国語	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	こそそめスープ ルリボシカミキリの青	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	未来をつくる想像力 水の東西	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日
3	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色	視聴 課題あり	第3回 6月1週土曜日
4	鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日 第6回 7月3週土曜日
5	美しさの発見 りんごのほっぺ	視聴 課題あり	
6	不思議な拍手 真の自立とは	視聴 課題あり	

評価の観点	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
国語	言語文化	必履修	2	1	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

教科書	東京書籍　新編言語文化	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	さくらさくらさくら 「美しい」ということ とんかつ・雨漏りの音	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た・少年の日	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	羅生門 夢十夜 デューク	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日
4	徒然草子 枕草子 折々のうた	視聴 課題あり	第5回 １月２週土曜日 第6回 １月４週土曜日
5	伊勢物語 平家物語 奥の細道	視聴 課題あり	
6	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩・論語・史話	視聴 課題あり	

評価の観点	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
国語	論理国語	必履修	4	2	2	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

教科書	東京書籍　新編論理国語	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	対話とは何か 世界をつくり替えるために 少女たちの「ひろしま」・「不思議」ということ	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」 思考の肺活量・安心について	視聴 課題あり	第2回 5月1週土曜日 第3回 5月2週土曜日
3	はじめに「言葉」がある 複数の「わたし」 楽に働くこと、楽しく働くこと	視聴 課題あり	第4回 5月3週土曜日 第5回 5月4週土曜日
4	最初のペンギン 豊かさと生物多様性 物語の外から・カフェの開店準備	視聴 課題あり	第6回 6月1週土曜日
5	ロボットが隣人になるとき 科学的「発見」とは 言葉は「物の名前」ではない	視聴 課題あり	第7回 6月2週土曜日 第8回 6月3週土曜日
6	知識における作者性と構造性 もう一つの知性 未来のありか	視聴 課題あり	第9回 6月4週土曜日

評価の観点	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。	第10回 7月1週土曜日 第11回 7月2週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 7月3週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
国語	文学国語	必履修	4	2	2	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

教科書	東京書籍　文学国語	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	光の窓　・雨月物語 山月記・窓 言葉を生きる	視聴 課題あり	第1回 10月４週土曜日
2	山椒魚 鋏　・竹　・永訣の朝 硝子の駒　・モードの変遷	視聴 課題あり	第2回 11月１週土曜日 第3回 11月２週土曜日
3	こころ 文学のふるさと　・文学の未来 ・鞄　・あの朝	視聴 課題あり	第4回 11月３週土曜日 第5回 11月４週土曜日
4	国語から旅立って　・書かれた風景の中へ コンビニの母　・夏の姿　・帰途 小諸なる古城のほとり　・金剛の露　・平気	視聴 課題あり	第6回 12月１週土曜日
5	空っぽの瓶　・クレールという女 父と暮せば 舞姫	視聴 課題あり	第7回 12月２週土曜日 第8回 12月３週土曜日
6	演技する「私」 映画の可能性のために 葉桜と魔笛	視聴 課題あり	第9回 12月４週土曜日

評価の観点	・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	第10回 １月１週土曜日 第11回 １月２週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 １月３週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
国語	古典探究	必履修	4	3	2	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

教科書	東京書籍　新編古典探究	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	宇治拾遺物語・十訓抄 徒然草・方丈記 詩と感情生活	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	沖縄の手記から 平家物語・世間胸算用・枕草子 おらが春・小倉百人一首の世界	視聴 課題あり	第2回 5月1週土曜日 第3回 5月2週土曜日
3	伊勢物語・大和物語 袋草紙・無名抄 古今和歌集仮名序・源氏物語	視聴 課題あり	第4回 5月3週土曜日 第5回 5月4週土曜日
4	三冊子・古事記 小話一四編 唐詩一八種・文一二編	視聴 課題あり	第6回 6月1週土曜日
5	項羽と劉邦 寓話一五編 十八史略・小話一三編	視聴 課題あり	第7回 6月2週土曜日 第8回 6月3週土曜日
6	古体詩一五首・廉頗と藺相如 儒家と道家 蠅	視聴 課題あり	第9回 6月4週土曜日

評価の観点	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。	第10回 7月1週土曜日 第11回 7月2週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 7月3週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
国語	国語表現	必履修	4	3	2	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

教科書	東京書籍　国語表現	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	身体で表現しよう 「問い」を考えよう インタビュー	視聴 課題あり	第2回 5月1週土曜日 第3回 5月2週土曜日
3	「問い」を考えよう 「自分」を表現しよう 面接・自己PR	視聴 課題あり	第4回 5月3週土曜日 第5回 5月4週土曜日
4	論理的な文章を書こう 小論文	視聴 課題あり	第6回 6月1週土曜日
5	話し合う力をつけよう ファシリテーション 情報活用力を身につけよう	視聴 課題あり	第7回 6月2週土曜日 第8回 6月3週土曜日
6	説得力のある提案をしよう 表現を楽しもう 創作	視聴 課題あり	第9回 6月4週土曜日

評価の観点	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	第10回 7月1週土曜日 第11回 7月2週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 7月3週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
地理歴史	地理総合	必履修	2	1	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。　2．地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養います。

教科書	東京書籍　地理総合	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第1編　地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章　私が暮らす世界 第2章　地図や地理情報システムの役割	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	第３章　資料から読み取る現代世界 第2編　国際理解と国際協力 第１章　人々の生活文化と多様な地理的環境	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	2節　生活文化と自然環境①地形 3節　生活文化と自然環境②気候 4節　生活文化と産業	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日
4	第2章　さまざまな地球的課題と国際協力 1節　地球環境問題 2節　資源・エネルギー問題	視聴 課題あり	第5回 7月1週土曜日 第6回 7月3週土曜日
5	3節　人口問題　4節　食料問題 5節　居住・都市問題　6節　民族問題 7節　持続可能な社会の実現をめざして	視聴 課題あり	
6	第3編　持続可能な地域づくりと私たち 第1章　自然環境と防災 第2章　生活圏の調査と地域の展望	視聴 課題あり	

評価の観点	・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
歴史	歴史総合	必履修	2	1	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。　2．近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

教科書	東京書籍　新選歴史総合	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第1章　歴史の扉 第2章　近代化と私たち 1節　近代化への問い	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	2節　結び付く世界と日本の開国 3節　国民国家と明治維新 4節　近代化と現代的な諸課題	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	第３章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節　国際秩序の変化や大衆化への問い 2節　第一次世界大戦と大衆社会	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日 第5回 １月２週土曜日
4	3節　経済危機と第二次世界大戦 4節　国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日
5	第４章　グローバル化と私たち 1節　グローバル化への問い 2節　冷戦と世界経済	視聴 課題あり	
6	3節　世界秩序の変容と日本 4節　現代的な諸課題の形成と展望	視聴 課題あり	

評価の観点	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
地理歴史	地理探究	必履修	3	2	2	9	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して，現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに，系統地理的な考察方法を身に付けます。　2．選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して，現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに，地誌的な考察方法を身に付けます。　3．我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して，現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。

教科書	東京書籍　地理探究	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第1編　現代世界の系統地理的考察 第1章　自然環境 1節　世界の地形　2節　気候と自然環境	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	第2章　産業と資源 1節　産業の発展と社会的分業 2節　農林水産業　3節　食糧問題	視聴 課題あり	第2回 5月2週土曜日 第3回 5月3週土曜日
3	第3章　交通・通信，貿易，観光 第4章　人口，村落・都市 第5章　生活文化，民族・宗教	視聴 課題あり	第4回 5月4週土曜日 第5回 6月2週土曜日
4	第2編　現代世界の地誌的考察 第1章　現代世界の地域区分	視聴 課題あり	第6回 6月4週土曜日
5	第2章　現代世界の諸地域	視聴 課題あり	第7回 7月1週土曜日 第8回 7月2週土曜日
6	第3編　現代世界と日本の国土像 第1章　持続可能な国土像の探究	視聴 課題あり	第9回 7月3週土曜日

評価の観点	日本における産業立地や都市化の変化，国土政策の流れに関連する資料を読み解き探究する。日本が抱える地理的課題とその解決の方向性，これからの日本の持続可能な国土像について関心と課題意識を高め，意欲的に追究しとらえる。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
歴史	日本史探究	必履修	3	2	2	9	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。2．我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

教科書	東京書籍　日本史探究	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第１編　先史・古代の日本と東アジア 第1章　先史社会の生活と文化 第2章　歴史資料と先史・古代の展望	視聴 課題あり	第1回 10月４週土曜日
2	第3章　古代社会の形成と展開　1節　1・2 第2編　中世の日本と世界 第1章　中世社会の成立	視聴 課題あり	第2回 11月２週土曜日 第3回 11月３週土曜日
3	第2章　歴史資料と中世の展望 第3章　中世社会の展開 第3編　近世の日本と世界	視聴 課題あり	第4回 11月４週土曜日 第5回 12月２週土曜日
4	第1章　近世社会の形成 第2章　歴史資料と近世の展望 第3章　近世社会の展開	視聴 課題あり	第6回 12月４週土曜日
5	第4編　近現代の地域・日本と世界 第1章　近代社会の幕開け 第2章　歴史資料と近現代の展望	視聴 課題あり	第7回 １月１週土曜日 第8回 １月２週土曜日
6	第3章　近現代社会の展望 第4章　現代の日本の課題の探究	視聴 課題あり	第9回 １月３週土曜日

評価の観点	日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や，考察したことを効果的に説明する力を養う。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
歴史	世界史探究	必履修	3	3	2	9	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。　2．世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

教科書	東京書籍　世界史探究	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	序章　世界史へのまなざし　第1編　諸地域の歴史的特質 第１章　古代文明の出現　第２章　西アジアと地中海周辺 第３章　南アジア　第4章　東南アジア	視聴 課題あり	第1回 ４月４週土曜日
2	第5章　東アジアと中央ユーラシア　第6章　アフリカ，オセアニア，古アメ 第2編　諸地域の交流と再編　第7章　イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章　中世ヨーロッパ　第9章　中華世界の変容とモンゴル帝国	視聴 課題あり	第2回 ５月２週土曜日 第3回 ５月３週土曜日
3	第10章　インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章　大交易時代と世界の一体化 第12章　ユーラシア諸帝国の繁栄	視聴 課題あり	第4回 ５月４週土曜日 第5回 ６月２週土曜日
4	第13章　主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 第3編　一体化していく世界 第14章　国民国家と近代社会の形成	視聴 課題あり	第6回 ６月４週土曜日
5	第15章　世界市場の形成とアジア諸国の変容　第16章　アジア・アフリカ 第17章　第一次世界大戦の展開と諸地域の変容　第18章　国際協調体制の 第19章　第二次世界大戦と戦後の東アジア　第4編　グローバル化と地球的課	視聴 課題あり	第7回 ７月１週土曜日 第8回 ７月２週土曜日
6	第20章　冷戦の世界化と国際制度 第21章　冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章　21世紀の地球的課題と人類社会	視聴 課題あり	第9回 ７月３週土曜日

評価の観点	諸地域の結合・変容について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。身の回りの諸事象を基に，私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
公民	公共	必履修	2	1	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。　2．現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。

教科書	東京書籍　公共	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第1部　「公共」のとびら 第1章　公共的な空間をつくる私たち－社会のなかの自己 第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	第3章　公共的な空間における基本的原理 第2部　自立した主体として社会に参画する私たち 第1章　民主政治と私たち	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	第2章　法の働きと私たち	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日
4	第3章　経済社会で生きる私たち	視聴 課題あり	第5回 7月1週土曜日 第6回 7月3週土曜日
5	第4章　私たちの職業生活 第5章　国際社会のなかで生きる私たち	視聴 課題あり	
6	第3部　持続可能な社会づくりに参画するために	視聴 課題あり	

評価の観点	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
公民	倫理	必履修	2	2	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．教科書掲載の図版やコラム，原典資料や，その他の資料の読み取りを行うことで，人間としての在り方生き方や日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けます。 2．「思考と対話」では，学習の内容を手掛かりに倫理的な観点を明確にして，より広い視野から人間としての在り方生き方，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について，多面的・多角的に考察し，表現できるようにします。 3．広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

教科書	東京書籍　倫理	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 １章　人間の心のあり方 ２章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	３節　宗教と社会　４節　キリスト教 ５節　イスラーム　６節　仏教 ７節　中国の思想　８節　芸術	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	3章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ １節　近代と人間蘇張の精神　２節　近代思想の展開 ３節　人格の尊厳と人倫の思想　４節　社会変革の思想	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	６節　人間観・言語観の問いなおし　７節　他者・自然とのかかわり 4章　国際社会に生きる日本人としての自覚 １節　日本人の精神風土	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	２節　仏教と日本人の思想形成 ３節　儒教と日本人の思想形成 ４節　国学の思想　５節　庶民の思想	視聴 課題あり	
6	６節　西洋思想と日本人の近代化 ７節　国際社会に生きる日本人の自覚 第2編　現代の諸課題と倫理	視聴 課題あり	

評価の観点	人間の特質や青年期の課題，認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し，他者と共によりよく生きる人間のあり方について，思索を深めている。理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
公民	政治・経済	必履修	2	3	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養います。 2．よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

教科書	東京書籍　政治・経済	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	第1編　現代日本の政治と経済 第1章　現代日本の政治 1節　民主政治の基本原理	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	2節　日本国憲法の基本原理 3節　日本の政治機構 4節　現代政治の特質と課題	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	第2章　現代日本の経済 1節　現代の資本主義経済 2節　現代経済のしくみ	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	3節　日本経済の発展と現状 4節　福祉社会と日本経済の課題	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	第3章　現代日本の諸課題 第2編　グローバル化する国際社会 第1章　現代の国際政治	視聴 課題あり	
6	第2章　現代の国際経済 第3章　国際社会の諸課題	視聴 課題あり	

評価の観点	現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
数学	数学Ⅰ	必履修	3	1	2	9	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

教科書	東京書籍　新数学Ⅰ	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1章　数と式 1節　文字と式	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	2節　実数 3節　方程式と不等式	視聴 課題あり	第2回 5月2週土曜日 第3回 5月3週土曜日
3	2章　2次関数 1節　2次関数とそのグラフ	視聴 課題あり	第4回 5月4週土曜日 第5回 6月2週土曜日
4	2節　2次関数の値の変化 3章　三角比 1節　鋭角の三角比	視聴 課題あり	第6回 6月4週土曜日
5	2節　三角比の応用 4章　データの分析	視聴 課題あり	第7回 7月1週土曜日 第8回 7月2週土曜日
6	5章　集合と論証	視聴 課題あり	第9回 7月3週土曜日

評価の観点	事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
数学	数学Ⅱ	選択	4	2	2	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

教科書	東京書籍　新数学Ⅱ	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1章　方程式・式と証明 1節　式の計算 2節　2次方程式	視聴 課題あり	第1回 10月４週土曜日
2	3節　高次方程式　4節　式と証明 2章　図形と方程式 1節　座標と直線の方程式	視聴 課題あり	第2回 11月１週土曜日 第3回 11月２週土曜日
3	2節　円の方程式　3節　軌跡と領域 3章　三角関数 1節　三角関数	視聴 課題あり	第4回 11月３週土曜日 第5回 11月４週土曜日
4	2節　加法定理 4章　指数関数と対数関数 1節　指数関数	視聴 課題あり	第6回 12月１週土曜日
5	2節　対数関数 5章　微分と積分	視聴 課題あり	第7回 12月２週土曜日 第8回 12月３週土曜日
6	1節　微分係数と導関数 2節　導関数の応用 3節　積分	視聴 課題あり	第9回 12月４週土曜日

評価の観点	数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。	第10回 １月１週土曜日 第11回 １月２週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 １月３週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
数学	数学A	必履修	2	1	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

教科書	東京書籍　新数学A	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1章　場合の数と確率 1節　場合の数	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	2節　確率	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	2章　図形の性質 1節　平面図形の基礎 2節　三角形の性質	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日 第5回 １月２週土曜日
4	3節　円の性質 4節　空間図形	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日
5	3章　数学と人間の活動 1節　数や位置を表す 2節　数のつくりを調べる	視聴 課題あり	
6	3節　はかる 4節　数学で遊ぶ	視聴 課題あり	

評価の観点	事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
数学	数学B	選択	2	2	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍　新数学B	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1章　数列 1節　数列	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	2節　いろいろな数列 3節　漸化式と数学的帰納法	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	2章　統計的な推測 1節　標本調査 2節　確率分布	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日 第5回 １月２週土曜日
4	3節　正規分布 4節　統計的な推測	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日
5	3章　数学と社会生活 1節　数学的モデル化 2節　関数モデル	視聴 課題あり	
6	3節　確率モデル 4節　幾何モデル 5節　フェルミ推定	視聴 課題あり	

評価の観点	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
数学	数学C	選択	2	3	1	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍　新数学C	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1章　ベクトル 1節　平面のベクトル	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	2節　ベクトルの応用 3節　空間におけるベクトル	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	2章　平面上の曲線 1節　2次曲線	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日
4	2節　媒介変数表示と極座標	視聴 課題あり	第5回 １月２週土曜日 第6回 １月４週土曜日
5	3章　複素数平面 1節　複素数平面 2節　図形への応用	視聴 課題あり	
6	4章　数学的な表現の工夫 1節　統計グラフに表す 2節　行列に表す	視聴 課題あり	

評価の観点	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

2026年度　**後期**　教育計画　帝京第三高等学校　20

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	科学と人間生活	必履修	2	1	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	1．自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。 2．観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 3．自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

教科書	東京書籍　科学と人間生活	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1編　生命の科学 1章　微生物とその利用	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	2章　ヒトの生命現象	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	2編　物質の科学 1章　材料とその再利用 2章　衣料と食品	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日 第5回 １月２週土曜日
4	3編　光や熱の科学 1章　光の性質とその利用 2章　熱の性質とその利用	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日
5	4編　宇宙や地球の科学 1章　太陽と地球	視聴 課題あり	
6	2章　自然景観と自然災害	視聴 課題あり	

評価の観点	物理・化学・生物・地学の各分野の事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得のために学び、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達を目標として主体的に学んでいる。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	生物基礎	選択	2	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍　新編生物基礎	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1編　生物の特徴	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	2編　遺伝子とそのはたらき	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	3編　ヒトの体の調節 1章　ヒトの体を調節するしくみ	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日
4	2章　免疫のはたらき	視聴 課題あり	第5回 7月1週土曜日 第6回 7月3週土曜日
5	4編　生物の多様性と生態系 1章　植生と遷移	視聴 課題あり	
6	2章　生態系と生物の多様性	視聴 課題あり	

評価の観点	生物の特徴について，生物の共通性と多様性の基本的な概念ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	化学基礎	選択	2	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍　新編化学基礎	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1編　化学と人間生活 1章　化学とは何か	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	2章　物質の成分と構成元素 2編　物質の構成 1章　原子の構造と元素の周期表	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	2章　化学結合	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日
4	3編　物質の変化 1章　物質量と化学反応式	視聴 課題あり	第5回 7月1週土曜日 第6回 7月3週土曜日
5	2章　酸と塩基	視聴 課題あり	
6	3章　酸化還元反応	視聴 課題あり	

評価の観点	物質の構成粒子についての実験などを通して，原子の構造，電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	物理基礎	選択	2	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍　新編物理基礎	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1編　物体の運動とエネルギー 1章　直線運動の世界	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	2章　力と運動の法則	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	3章　力学的エネルギー	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	2編　さまざまな物理現象とエネルギー 1章　熱	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	2章　波	視聴 課題あり	
6	3章　電気 4章　エネルギーとその利用	視聴 課題あり	

評価の観点	運動の表し方についての観察，実験などを通して，物理量の測定と扱い方，運動の表し方，直線運動の加速度について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	地学基礎	選択	2	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍　新編地学基礎	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1編　私たちの大地 1章　大地とその動き 2章　火山活動と地震	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	2編　私たちの空と海 1章　地球の熱収支 2章　大気と海水の運動	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	3編　私たちの宇宙の誕生 1章　宇宙の構造と進化	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	4編　私たちの地球の歴史 1章　地層と化石の観察 2章　古生物の変遷と地球環境	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	5編　地球に生きる私たち 1章　日本の自然の恵みと防災	視聴 課題あり	
6	終1章　地球環境の考え方 終2章　自然環境の変動 終3章　これからの地球環境	視聴 課題あり	

評価の観点	地球環境の科学についての観察・実習などを通して，宇宙，太陽系と地球の誕生について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数		期末試験	評定
					面接	レポート		
保体	体育Ⅰ	必履修	1	1	2	2	なし	100点法 5段階評定
ねらい 特徴	心と体を一体としてとらえることを重視し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。							
教科書	大修館　アクティブ　スポーツ　大修館				副教材	自校作成の教材資料を使用		
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ				履修順序	特になし		

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	体力測定	視聴 課題あり	第1回 5月4週土曜日
2	ゴルフ	視聴 課題あり	第2回 7月1週土曜日
3	ボルダリング	視聴 課題あり	
4	サッカー	視聴 課題あり	
5	ダンス	視聴 課題あり	
6	バレーボール	視聴 課題あり	
評価の観点	運動の合理的、計画的な実践に関する 具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知 識及び運動の特性に応じた段階的な技能 を身に付けている。 また、個人及び社会生活における健 康・安全について、課題解決に役立つ知 識や技能を身に付けている。		
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。		

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数		期末試験	評定
					面接	レポート		
保体	体育Ⅰ	必履修	1	1	2	2	なし	100点法 5段階評定
ねらい 特徴	心と体を一体としてとらえることを重視し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。							
教科書	大修館　アクティブ　スポーツ　大修館				副教材	自校作成の教材資料を使用		
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ				履修順序	特になし		

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	バスケットボール	視聴 課題あり	第1回 11月４週土曜日
2	ゴルフ	視聴 課題あり	第2回 １月２週土曜日
3	ボルダリング	視聴 課題あり	
4	卓球	視聴 課題あり	
5	バレーボール	視聴 課題あり	
6	サッカー	視聴 課題あり	
評価の観点	自己や仲間の課題に応じた運動の取り組 み方や健康の保持及び体力を高めるための 運動の計画を工夫し、それらを表現してい る。 また、個人及び社会生活における健康課 題を発見し、その解決を目指して、総合的 に考え、判断し、それらを表現している。		
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。		

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数		期末試験	評定
					面接	レポート		
保体	体育 II	必履修	1	2	2	2	なし	100点法 5段階評定
ねらい 特徴	心と体を一体としてとらえることを重視し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。							
教科書	大修館　アクティブ　スポーツ　大修館				副教材	自校作成の教材資料を使用		
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ				履修順序	特になし		

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	体力測定	視聴 課題あり	第1回 5 月 4 週土曜日
2	ゴルフ	視聴 課題あり	第2回 7 月 1 週土曜日
3	ボルダリング	視聴 課題あり	
4	サッカー	視聴 課題あり	
5	ダンス	視聴 課題あり	
6	バレーボール	視聴 課題あり	
評価の観点	運動の合理的、計画的な実践に関する 具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知 識及び運動の特性に応じた段階的な技能 を身に付けている。 また、個人及び社会生活における健 康・安全について、課題解決に役立つ知 識や技能を身に付けている。		
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。		

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
保体	体育 II	必履修	1	2	2	2	なし	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	心と体を一体としてとらえることを重視し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

教科書	大修館　アクティブ　スポーツ　大修館	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	バスケットボール	視聴 課題あり	第1回 11月４週土曜日
2	ゴルフ	視聴 課題あり	第2回 １月２週土曜日
3	ボルダリング	視聴 課題あり	
4	卓球	視聴 課題あり	
5	バレーボール	視聴 課題あり	
6	サッカー	視聴 課題あり	

評価の観点	自己や仲間の課題に応じた運動の取り組 み方や健康の保持及び体力を高めるための 運動の計画を工夫し、それらを表現してい る。 また、個人及び社会生活における健康課 題を発見し、その解決を目指して、総合的 に考え、判断し、それらを表現している。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
保体	体育III	必履修	3	3	2	2	なし	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	心と体を一体としてとらえることを重視し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

教科書	大修館　アクティブ　スポーツ　大修館	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	体力測定	視聴 課題あり	第1回 5月4週土曜日
2	ゴルフ	視聴 課題あり	第2回 7月1週土曜日
3	ボルダリング	視聴 課題あり	
4	サッカー	視聴 課題あり	
5	ダンス	視聴 課題あり	
6	バレーボール	視聴 課題あり	

評価の観点	運動の合理的、計画的な実践に関する 具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知 識及び運動の特性に応じた段階的な技能 を身に付けている。 また、個人及び社会生活における健 康・安全について、課題解決に役立つ知 識や技能を身に付けている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
保体	保健Ⅰ	必履修	1	1	1	3	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。健康的な生活習慣を身につけ健康的に好ましい環境をつくるための知識と能力を高め、将来に通じた健康づくりの基礎を学ぶ。

教科書	大修館　現代高等保健体育　大修館	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康	視聴 課題あり	第2回 12月３週土曜日 第3回 １月４週土曜日
3	7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康	視聴 課題あり	
4	10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康 12. 精神疾患の特徴	視聴 課題あり	
5	13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復 15. 現代の感染症	視聴 課題あり	
6	16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択	視聴 課題あり	

評価の観点	個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し，技能を習得している。課題を見つけ，その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え，表現している。関心をもち，学習に進んで取り組んでいる。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
保体	保健Ⅰ	必履修	1	2	1	3	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を培うことを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。健康的な生活習慣を身につけ健康的に好ましい環境をつくるための知識と能力を高め、将来に通じた健康づくりの基礎を学ぶ。

教科書	大修館　現代高等保健体育　大修館	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶	視聴 課題あり	第2回 12月３週土曜日 第3回 １月４週土曜日
3	6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康	視聴 課題あり	
4	健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚染，土壌汚染と健康	視聴 課題あり	
5	3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性	視聴 課題あり	
6	6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策	視聴 課題あり	

評価の観点	個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し，技能を習得している。課題を見つけ，その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え，表現している。関心をもち，学習に進んで取り組んでいる。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
芸術	書道Ⅰ	必履修	2	1	4	6	なし	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。　1．書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。　2．書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。　3．主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

教科書	東京書籍　書道Ⅰ	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	書写から書道へ	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	楷書 行書	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	草書 隷書 篆書	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	仮名の書	視聴 課題あり	
6	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	視聴 課題あり	

評価の観点	・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
外国語	英語コミュニケーションⅠ（前期）	必履修	3	1	3	5	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用すれば，１．必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　２．必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　３．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。　４．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。　５．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication Ⅰ	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	Lesson1　Breakfast around the World	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	Lesson2　Australia’s Cute Quokkas	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日
3	Lesson3　A Train Driver in Sanriku	視聴 課題あり	第3回 6月1週土曜日
4	Lesson4　A Miracle Mirror	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日
5	Lesson5　Learning from the Sea	視聴 課題あり	第5回 7月1週土曜日
6	Lesson6　A Funny Picture from the Edo Period	視聴 課題あり	

評価の観点	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声､語彙・表現、文法の知識を身に付けている。○外国語の音声、語彙・表現、文法を、４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
外国語	英語コミュニケーションⅠ（後期）	必履修	3	1	3	4	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用すれば，１．必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　２．必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　３．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。　４．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。　５．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication Ⅰ	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	Lesson7　A Diary of Hope	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	Lesson8　A Door to a New Life①	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日
3	Lesson8　A Door to a New Life②	視聴 課題あり	第3回 12月３週土曜日
4	Lesson9　Fighting Plastic Pollution	視聴 課題あり	第4回 １月４週土曜日
5	Lesson10　Pigs from across the Sea①	視聴 課題あり	
6	Lesson10　Pigs from across the Sea②	視聴 課題あり	

評価の観点	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。○外国語の音声、語彙・表現、文法を、４技能において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
外国語	英語コミュニケーションII（前期）	必履修	4	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常的・社会的な話題について，一定の支援を活用すれば，１．必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　２．必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　３．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。　４．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。　５．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication II	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	Lesson1　A Colorful Island	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	Lesson2　With the Beatles	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日
			第3回 6月1週土曜日
3	Lesson3　Wild Men	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日
			第5回 7月1週土曜日
4	Lesson4　Little Hero	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	Lesson5　Special Makeup in Kabuki	視聴 課題あり	
6	Reading1　Mujina	視聴 課題あり	

評価の観点	○言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
外国語	英語コミュニケーションII（後期）	必履修	4	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常的・社会的な話題について，一定の支援を活用すれば，１．必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　２．必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。　３．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。　４．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。　５．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

教科書	東京書籍　All Aboard! English Communication II	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	Lesson6　Seeds for Future Generations	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	Lesson7　Over the Wall	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日
3	Lesson8　Inspiration from Nature	視聴 課題あり	第3回 12月１週土曜日
4	Lesson9　The Bitter Truth behind Chocolate	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日
5	Lesson10　Fighting Angel	視聴 課題あり	第5回 １月２週土曜日
6	Reading2　Bear's Pie	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日

評価の観点	○言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
外国語	論理表現Ⅰ（前期）	選択	2	1	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声､語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。

教科書	東京書籍　FAVORITE English Logic and Express	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	Unit1　Lesson1　初めての食事 Lesson2　道に迷う Lesson3　人物紹介	視聴 課題あり	第1回 5月2週土曜日
2	Lesson4　体調が悪い Lesson5　買い物 Lesson6　行ってみたい場所	視聴 課題あり	第2回 5月4週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	Lesson7　イベントに誘われる Lesson8　スクールカウンセラーに相談 Lesson9　お気に入りを紹介	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	Unit2 Lesson1 クラウドでディベート① Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4　遊びやスポーツを紹介	視聴 課題あり	
6	Lesson5　日本をPR Lesson6　物事の両面を伝える Lesson7　読み手を納得させる	視聴 課題あり	

評価の観点	○言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
外国語	論理表現Ⅱ（後期）	選択	2	2	4	6	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声､語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。

教科書	東京書籍　FAVORITE English Logic and Express	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	Lesson1　友達に報告する Lesson2　日本での初登校 Lesson3　経験についてのスピーチ	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	Lesson4　ファンレター Lesson5　イベントに誘う Lesson6　図書館で資料さがし	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月１週土曜日
3	Lesson7　翻訳についてのスピーチ Lesson8　通信販売で返品依頼 Lesson9　タクシーの乗る	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日 第5回 １月２週土曜日
4	Lesson1　クラスでディベート① Lesson2　クラスでディベート② Lesson3　クラスでディベート③	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日
5	Lesson4　調査結果のプレゼンテーション Lesson5　社会問題についてのスピーチ Lesson6　仮定して推論する	視聴 課題あり	
6	Lesson7　比較して説明する Lesson8　読み手を説得する	視聴 課題あり	

評価の観点	○言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
家庭	家庭基礎	必履修	2	2	2	4	なし	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

教科書	東京書籍　家庭基礎	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	家族・社会との共生 第1章　生涯を見通す 第2章　人生をつくる	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	第3章　子どもと共に育つ 第4章　超高齢社会を共に生きる	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日 第3回 12月３週土曜日
3	第5章　共に生き，共に支える 生活の自立 第6章　食生活をつくる　1～5	視聴 課題あり	第4回 １月４週土曜日
4	第6章　食生活をつくる　6・7 第7章　衣生活をつくる	視聴 課題あり	
5	第8章　住生活をつくる 第9章　経済生活を営む	視聴 課題あり	
6	第10章　持続可能な生活を営む 生活の創造 第11章　これからの生活を創造する	視聴 課題あり	

評価の観点	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
情報	情報Ⅰ	必履修	2	1	2	2	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

教科書	東京書籍　情報新編Ⅰ	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	1章　情報で問題を解決する	視聴 課題あり	第1回 11月２週土曜日
2	2章　情報を伝える	視聴 課題あり	第2回 11月４週土曜日
3	3章　コンピュータを活用する	視聴 課題あり	第3回 12月１週土曜日
4	4章　データを活用する	視聴 課題あり	第4回 12月３週土曜日
5	5章　活動して提案する	視聴 課題あり	第5回 １月２週土曜日
6	巻末	視聴 課題あり	第6回 １月４週土曜日

評価の観点	○情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
探究	探究	必履修	1	1〜3	3	3	なし	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	探究活動を通じて、自らの疑問や発見に対する理解を高めながら、自分のできる限り探究した内容を他者に伝えようと努力する。

教科書	東京書籍　帝三オリジナル資料	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	自己を知る ・自己を知る ・自己の将来について考える	視聴 課題あり	第1回 5月4週土曜日
2	将来について考える① ・５年後の自分を想像する ・２０年後の自分を想像する	視聴 課題あり	第2回 11月4週土曜日 第3回 2月2週土曜日
3	将来について考える② 就職と進学 ・生涯賃金と学歴	視聴 課題あり	
4	帝京大学Gについて知る ・学部を知ろう ・学科を知ろう	視聴 課題あり	
5	帝京大学Gについて知る ・大学見学 ・OCへ行こう	視聴 課題あり	
6	将来について考える③ ・就職と進学、自分を想像する	視聴 課題あり	

評価の観点	○自分の進路について探究をすることを一番の目標として、将来に向けた問題の発見 とその解決を目指す。帝京大学グループの一員であることをしっかりと感じてもら う。そして、人生を支えるパートナーであることを意識する。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習などを総合的に判断し、科目の取得 や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であ ることをよく理解しておくこと。	

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	物理	選択	4	3	8	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍　物理	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	力学　平面運動　円運動 万有引力　単振動 運動量保存	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	熱　気体分子運動論 ボイル・シャルルの法則 熱力学第一法則	視聴 課題あり	第2回 5月2週土曜日 第3回 5月4週土曜日
3	波動　波の干渉 ドップラー効果 光の回折・干渉	視聴 課題あり	第4回 6月2週土曜日 第5回 6月4週土曜日
4	レンズ・鏡　光の屈折 電磁気　電場・電位 コンデンサー	視聴 課題あり	第6回 7月2週土曜日
5	磁場　ローレンツ力 電磁誘導　交流回路 原子　電子　光電効果	視聴 課題あり	第7回 10月4週土曜日 第8回 11月2週土曜日
6	X線　原子模型 原子核　半導体 放射線	視聴 課題あり	第9回 11月4週土曜日

評価の観点	運動の表し方についての観察，実験などを通して，物理量の測定と扱い方，運動の表し方，直線運動の加速度について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	第10回 12月2週土曜日 第11回 12月4週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 1月2週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	生物	選択	4	3	8	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍　生物	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	生命現象と物質　タンパク質　酵素反応 細胞小器官　細胞膜 呼吸・発酵　光合成詳細	視聴 課題あり	第1回 5月1週土曜日
2	遺伝情報とDNA　DNA複製 遺伝子発現　転写・翻訳 PCR　バイオテクノロジー	視聴 課題あり	第2回 5月3週土曜日 第3回 6月1週土曜日
3	生殖と発生　減数分裂 受精　発生 幹細胞	視聴 課題あり	第4回 6月3週土曜日 第5回 7月1週土曜日
4	生物の環境応答　神経 ホルモン　植物ホルモン 刺激応答	視聴 課題あり	第6回 7月3週土曜日
5	生態と環境　個体群 群集　生態系 物質循環　バイオーム	視聴 課題あり	第7回 11月1週土曜日 第8回 11月3週土曜日
6	進化と系統　自然選択説 系統樹　分類 分子進化	視聴 課題あり	第9回 12月1週土曜日

評価の観点	生物の特徴について，生物の共通性と多様性の基本的な概念ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	第10回 12月3週土曜日 第11回 1月1週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 1月3週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
理科	化学	選択	4	3	8	12	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍　化学	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	物質の状態　気体 状態変化　蒸気圧 気体の法則	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	化学反応とエネルギー　反応熱 ヘスの法則　化学結合エネルギー 反応速度と化学平衡　反応速度	視聴 課題あり	第2回 5月2週土曜日 第3回 5月4週土曜日
3	触媒　可逆反応 ルシャトリエの原理 電気化学　電池	視聴 課題あり	第4回 6月2週土曜日 第5回 6月4週土曜日
4	電気分解　ファラデーの法則 無機物質　金属元素　非金属元素 気体の性質　錯イオン	視聴 課題あり	第6回 7月2週土曜日
5	有機化学　炭化水素 アルコール　カルボン酸　エステル 芳香族化合物	視聴 課題あり	第7回 10月4週土曜日 第8回 11月2週土曜日
6	高分子化合物　合成樹脂　ゴム　繊維 タンパク質　DNA　化学と社会　医薬品　食品 エネルギー　環境化学	視聴 課題あり	第9回 11月4週土曜日

評価の観点	物質の構成粒子についての実験などを通して，原子の構造，電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	第10回 12月2週土曜日 第11回 12月4週土曜日
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	第12回 1月2週土曜日

教科	科目名	履修区分	単位数	対象学年	指導回数 面接	指導回数 レポート	期末試験	評定
数学	数学Ⅲ	選択	3	3	2	9	あり	100点法 5段階評定

ねらい 特徴	極限，微分法及び積分法について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

教科書	東京書籍　数学Ⅲ Standard	副教材	自校作成の教材資料を使用
メディア活用	①NHK高校講座　②東京書籍デジタルコンテンツ	履修順序	特になし

学習計画

ヶ月目	単元	メディア	レポート【〆切】
1	極限　数列の極限 無限級数　関数の極限 無限大・収束　はさみうちの原理	視聴 課題あり	第1回 4月4週土曜日
2	微分法　導関数 合成関数の微分　積・商の微分 三角関数の微分　指数・対数関数の微分　高次導関数	視聴 課題あり	第2回 5月3週土曜日 第3回 6月2週土曜日
3	積分法　不定積分 定積分　置換積分　部分積分 面積　体積　曲線の長さ	視聴 課題あり	第4回 7月1週土曜日 第5回 7月3週土曜日
4	複素数平面　複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数平面上の図形　回転・拡大縮小	視聴 課題あり	第6回 10月4週土曜日
5	式と曲線　2次曲線 放物線 楕円	視聴 課題あり	第7回 11月2週土曜日 第8回 11月4週土曜日
6	双曲線 媒介変数表示 極座標	視聴 課題あり	第9回 12月4週土曜日

評価の観点	極限・微分・積分や複素数平面などの学習を通して、数学的に考察し、事象を論理的かつ的確に表現する力を総合的に評価する。	
評価の方法	レポート課題・スクーリング出席・メディア学習・考査・小テストなどを総合的に判断し、科目の取得や評定を決定する。レポート課題の提出については、評価において重視する点であることをよく理解しておくこと。	